



ゆいぐみだより

2019年8月

尚徳福祉会 馬橋保育園



7月は天候の関係で、プールにほとんど入れませんでした。そのかわり散歩先で夏の自然を発見したり、水たまりで釣りごっこをしたり、集団ゲームやクッキングに大喜びしたり、多様な活動を楽しむことが出来ました。「虹」を歌うのが大好きな子どもたちは、「虹を歌ったから、きっと晴れるよね」「ほら、おひさまがでてきた」とうれしそうに言い合っていました。

8月は「いよいよ夏本番!」となりプール遊びができることを祈っています。夏ならではの活動を思い切り楽しみつつ、遊びと休息のバランスを取ることも心がけたいと思います。夏休みに外出されるご家庭もあると思いますが、事故やケガに気をつけ、楽しく安全にお過ごしください。

今月のわらい

- 休息や水分補給する大切さを知り、暑い時期も健康で快適に過ごそうとする。
- 異年齢児やいろいろな友だちと関わり、工夫しながら遊びや活動を楽しむ。
- 夏の自然や動植物に興味を持ち、気づいたり発見したりする楽しさを味わう。

今月の予定

- ★ 夏野菜クッキング第2段を考えています。
- ★ 花火やお祭り、海水浴など、夏にまつわる行事を楽しめるような絵本、歌、制作活動などを予定しています。
- ★ パラバルーンに挑戦し、友だちと協力しながらやる楽しさを味わいたいと思います。

「お掃除って楽しいわよね!」

制作活動後、保育室の床に飛び散った絵の具をみんなで拭き掃除しました。「わぁ、こんなところも汚れちゃったね」と驚きながら、壁や椅子に付着した絵の具も見逃さずにきれいに拭き取り、「お掃除って楽しいわよね」と言い合う姿も見られました。さらに、一人一人の作品ケースを一回り大きなものに交換すると、子どもたちは自分の作品をきちんと保管し、片付けにも意欲的に取り組み始めたのです。クラスの玩具や自分の作品を大切に扱い、片付けたり掃除をしたりすると気持ちがいいこと。そうした経験を積み重ねながら、少しずつ成長していく子どもたちに頼もしさを感じました。

「カブトムシくんたち、一緒にあそぼうよ!」

ゆり組にカブトムシが5匹やってきました。最初は眺めるだけでしたが、今では手のひらに乗せたり床の上を歩かせたりしています。「昆虫ゼリーがなくなったから新しいのあげよう」「あれっ、土の中にもぐっちゃったのかな?」と会話ははずみ、飼育ケースの周りに集まる子どもの数も増えてきました。カーテンの上に乗せると天井のほうまでドンドン上っていくカブトムシに、みんな大歓声! 園庭やホール遊びのときも飼育ケースと一緒に持っていこうとするほど、今やゆり組の大切な仲間となりました。この夏、カブトムシを通して「生き物の命の大切さに触れられたらいいな」と思っています。

8月生まれのお友だち

★おたんじょうび おめでとう★

